

八丁星伝説

平安時代、弘法大師・空海が私の獅子窟寺で修行をしていましたところ、天から北斗七星が降りてきたという言い伝えがある場所です。そこが星田にある光林寺・星の森。



交野ヶ原東部

長尾の菅原神社

JR長尾駅の裏にある、菅原神社。ここのご祭神の菅原道真は長岡天神からいらっしゃいました。江戸時代に入り、戦乱で荒野地化した長尾周辺をあたえられた久貝正俊

が、村おこしを始め、最初13戸でしたが、開墾地が豊かな土壌で增收がありましたため、息子の正世の代には、33戸まで増えました。その際、町の神様を迎えるにあたって、久貝氏がかつて領地としていた長岡の長岡天神より、菅原道真を招いたことが、菅原神社の由来です。

学問の神様であり、町を一つにまとめる町おこしの神様として、菅原神社は今日も大事にされています。

枚方市楠葉中之芝2丁目。
JR長尾駅から直線約290メートル。



妙見山の3つの場所があり、それぞれの間の距離がハ丁（約880m）であります。なぜ北斗七星が3つに分かれて落ちたのか？三種の神器などがあるように、昔から「3」という数字には何か神秘がある気がします。どこも緑が多く、自然のパワーを感じられる場所なので、ハ丁三所の神秘を感じながらウォークングなんてどうでしょう？

★星の森交野市星田7丁目。JR星田駅から徒歩3分。★星田妙見宮…交野市星田9丁目60-1。JR星田駅から徒歩20分。★光林寺…交野市星田1丁目26。JR星田駅から徒歩20分。

磐船神社

天照大御神（アマテラスオオミカミ）の子孫である天孫・邇邇杵命（ニギノミコト）が、天照大御神の神勅を受けて國を治めるために、高天原（岐阜県）へと天降りしたことを天孫降臨といいます。

そして、実はこの交野ヶ原にも天孫降臨の地があることを皆様はご存知でしょうか？それは、交野市にある岩窟巡りで有名な磐船神社です。

ここは、「天の磐船」と呼ばれる高さ・長さとともに約12メートルもある舟形巨岩を御神体としており、邇邇杵命と同じく、天孫である諒速日尊（ニギハヤヒノミコト）



氷室の雪鬼

枚方市で最東部に位置する氷室。地名からしていかにも寒そうな地域に伝わる伝説「氷室の雪鬼」を紹介します。

時は平安時代、伊勢物語の主人公、在原業平（以下業平）の物語です。業平が氷室の地で、冬の寒い日、雪に襲われ遭難してしまいましたが、絶世の美女に助けられます。

互いに惹かれ合い、美女は天の君として都に強引に招き入れられ、皆がその美しさに感心しました。しかし「交野の君」は次第に瘦せ細り、ある夜、布団を雪溶け水のように濡らし姿を消してしまいました。悲しむ

が天の磐船に乗つて降臨されたとの伝承があります。風情溢れる天孫降臨の地で、天の磐船の神秘とスリル満点な人気の岩窟巡りをぜひ楽しんでみてはいかがでしょうか。

風情溢れる天孫降臨の地で、天の磐船の神秘とスリル満点な人気の岩窟巡りをぜひ楽しんでみてはいかがでしょうか。

交野市私市9丁目19-1。京阪私市駅から京阪バスまたは奈良交通バスに乗換「磐船神社前」。



枚方市氷室台。JR長尾駅から京阪バス75・89系統。

実はこの伝説が、氷室という地名の由来になつてゐるそうです。